

社会資本総合整備計画
「活力とuringおいのある村岡地域都市環境整備」
【平成26～30年度】

事後評価シート

・柄沢地区(第三期)都市再生整備計画事業 (平成26～30年度)

令和2年2月

神奈川県藤沢市

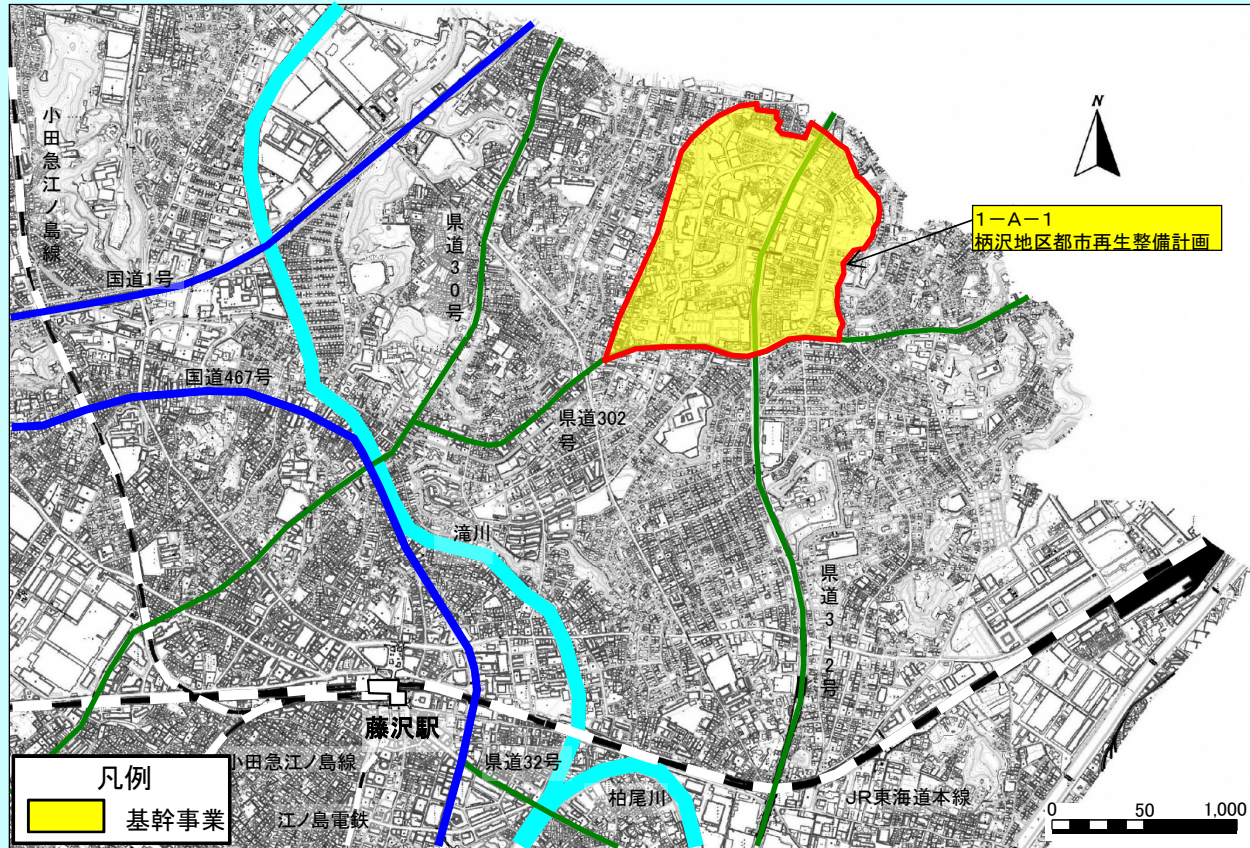
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	藤沢市	地区名	活力とうるおいのある村岡地域都市環境整備	面積	49.6ha													
交付期間	平成26年度～平成30年度	事後評価実施時期	令和元年度	交付対象事業費	1,869.9百万円															
1) 事業の実施状況																				
当初計画に位置づけ、実施した事業	A基幹事業		都市再生整備計画事業	柄沢地区都市再生整備計画事業																
	B関連社会資本整備事業		なし																	
	C効果促進事業		なし																	
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響													
	A基幹事業		なし	-		-														
	B関連社会資本整備事業		なし	-		-														
	C効果促進事業		なし	-		-														
	新たに追加した事業		A基幹事業		なし	-														
			B関連社会資本整備事業		なし	-														
			C効果促進事業		なし	-														
交付期間の変更		当初	なし	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-														
		変更	なし																	
2) 社会資本総合整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況																				
指標	指標1	柄沢地区における居住者数	人	従前値 基準年度	3,697	H24	目標値 目標年度	4,350	H30	数値 モニタリング	4,663	評価値	○	1年以内の達成見込み	あり なし	効果発現要因 (総合所見)	土地区画整理事業等により、良好な住環境の整備が進んだことから、地区内の居住人口が増加した。	フォローアップ 予定時期	-	
	指標2	地区内において整備された公共施設及び宅地の面積割合	%	従前値 基準年度	74.4	H25	目標値 目標年度	100	H30	数値 モニタリング	100	評価値	○	1年以内の達成見込み	あり なし	効果発現要因 (総合所見)	土地区画整理事業等により、公共施設の整備と宅地の供給が進み、土地の有効活用が図られた。	フォローアップ 予定時期	-	
	指標3	地区内の雨水貯留施設容量	m ³	従前値 基準年度	0	H25	目標値 目標年度	30,000	H30	数値 モニタリング	30,000	評価値	○	1年以内の達成見込み	あり なし	効果発現要因 (総合所見)	土地区画整理事業に合わせ、雨水貯留施設の整備が完了し、計画容量を確保することができた。	フォローアップ 予定時期	-	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況																				
その他の数値指標	その他の数値指標1	「誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまちであること」 「できている/だいたいできている」の比率 「あまりできていない/できていない」の比率	%	従前値 基準年度	56.9 27.4	H25	目標値 目標年度	/	数値 モニタリング	71.0 17.5	評価値	/	目標達成度	/	1年以内の達成見込み	/	効果発現要因 (総合所見)	市民意識調査村岡地区の集計において、H25とH30の比率の比較により、「できている/だいたいできている」が増加し、「あまりできていない/できていない」が減少した。	フォローアップ 予定時期	-
	その他の数値指標2	「子どもが大人になっても愛着の持てるまちであること」 「できている/だいたいできている」の比率 「あまりできていない/できていない」の比率	%	従前値 基準年度	59.6 26.9	H25	目標値 目標年度	/	数値 モニタリング	71.1 12.3	評価値	/	目標達成度	/	1年以内の達成見込み	/	効果発現要因 (総合所見)	市民意識調査村岡地区の集計において、H25とH30の比率の比較により、「できている/だいたいできている」が増加し、「あまりできていない/できていない」が減少した。	フォローアップ 予定時期	-
	その他の数値指標3	「災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること」 「できている/だいたいできている」の比率 「あまりできていない/できていない」の比率	%	従前値 基準年度	21.6 52.9	H25	目標値 目標年度	/	数値 モニタリング	37.7 43.0	評価値	/	目標達成度	/	1年以内の達成見込み	/	効果発現要因 (総合所見)	市民意識調査村岡地区の集計において、H25とH30の比率の比較により、「できている/だいたいできている」が増加し、「あまりできていない/できていない」が減少した。	フォローアップ 予定時期	-
	その他の数値指標4	「まちと自然環境との調和がとれていること」 「できている/だいたいできている」の比率 「あまりできていない/できていない」の比率	%	従前値 基準年度	57.7 28.8	H25	目標値 目標年度	/	数値 モニタリング	70.2 22.8	評価値	/	目標達成度	/	1年以内の達成見込み	/	効果発現要因 (総合所見)	市民意識調査村岡地区の集計において、H25とH30の比率の比較により、「できている/だいたいできている」が増加し、「あまりできていない/できていない」が減少した。	フォローアップ 予定時期	-
	その他の数値指標5	「移動や利用にあたり、だれでも利用できる道路や施設があること」 「できている/だいたいできている」の比率 「あまりできていない/できていない」の比率	%	従前値 基準年度	47.0 37.2	H25	目標値 目標年度	/	数値 モニタリング	54.4 34.2	評価値	/	目標達成度	/	1年以内の達成見込み	/	効果発現要因 (総合所見)	市民意識調査村岡地区の集計において、H25とH30の比率の比較により、「できている/だいたいできている」が増加し、「あまりできていない/できていない」が減少した。	フォローアップ 予定時期	-
4) 定性的な効果発現状況																				
<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある住環境が整備されたことから、藤沢市全体や村岡地域全体と比較すると子育て世代が増加し、こどもの人口が増加した。 土地区画整理事業の進捗に伴い、道路、街区が適正に配置されたことにより施設整備が容易となった。その顕著な事例として、老人福祉施設の建設が促進し、地域の高齢者が利用できるサービスの選択肢が増加した。 調整池の整備により、時間50mmの降雨で概ね3時間分の雨水を貯留することが出来き、柄沢地区のみならず、境川流域の洪水改善に寄与した。 																				
5) 実施過程の評価																				
実施過程の評価	モニタリング	なし	実施内容		実施状況			今後の対応方針等												
					実施した 実施しなかった															
	住民参加プロセス	なし	柄沢特定土地区画整理事業の進展により、人口の社会増が進んでいることから、古くからの住民に加えて、新たな転入世帯を対象とした、事業全般の情報提供や地域課題への意見提案に対応する連絡会議を設けていく。		実施した 実施しなかった			● ●												
	持続的なまちづくり体制の構築	なし			実施した 実施しなかった			● ●												

様式2-2 地区の概要

活力とるおいのある村岡地域都市環境整備(神奈川県藤沢市)社会資本総合整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: “安全”で“うるおい”ある居住環境の創出	柄沢地区における居住者数 単位: 人	3,697 H24	4,350 H30	4,663 H30
目標1: 良好な居住環境づくり 目標2: 生活にうるおいをもたらす地域環境づくり 目標3: 災害に強い安全な防災環境づくり	地区内において整備された公共施設及び宅地の面積割合 単位: %	74.4 H25	100 H30	100 H30
	地区内の雨水貯留施設容量 単位: m ³	0 H25	30,000 H30	30,000 H30



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業をはじめとする本計画の各事業の実施により、道路、公園、下水道などの質の高い都市基盤整備が行われ、良好な居住環境が形成された。 ・土地区画整理事業により、公園や街区を結ぶ歩行者専用道路等を中心とする歩行者系ネットワークが整備され、安全で快適な環境整備が図られた。 ・村岡地域の水害対策のため、宮ノ下公園内に雨水調整池(容量30,000m³)が整備された。 ・当地区のレクリエーションの空間及び身近なみどりの空間の核となる近隣公園として、宮ノ下公園(約1.5ha)が整備された。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・戸建て住宅を中心とした良好な居住環境の維持を図る。 ・道路・公園等の適正な維持管理とともに、地域の防犯活動等により、安全で快適な歩行者環境の維持を図る。 ・雨水貯留施設の適正な維持・管理を図る。 ・宮ノ下公園の適正な維持・管理とともに、公園を活用した地域のイベント・祭などを開催し、コミュニティの拠点形成を図る。